

小学校 第5学年 外国語科 学習指導案

北海道江別市立江別第二小学校
教諭 宮浦 匡典

単元名 Lesson 3 I have P.E. on Monday. (7時間)

単元のねらい 自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、夢の時間わりをつくり、好きな曜日や教科、だれと学びたいかについて聞き取ったり、伝えあったり、話したりすることができる。

本時のねらい 聞き手や話し手を意識して、学びたい教科や一緒に学びたい人を伝え合う。(第3時)

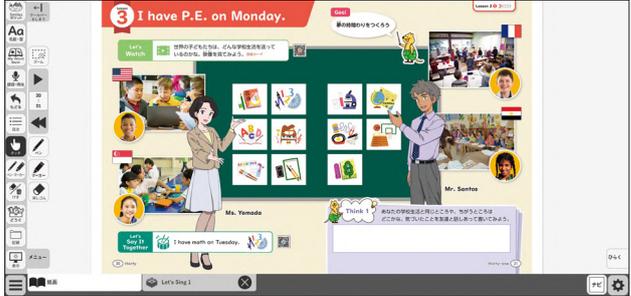
指導時期 6月～7月頃

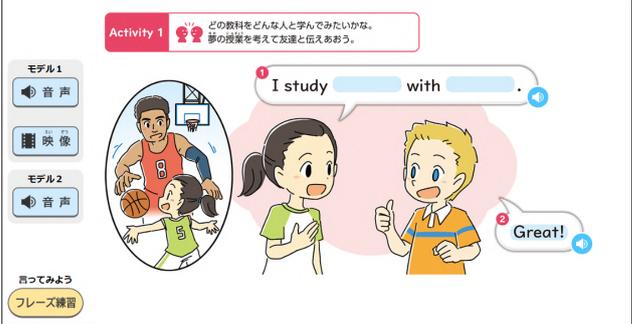
指導者用デジタル教科書(教材)活用の意図・目的

Lesson3 では、はじめに「Let's Watch」の動画を視聴することで、世界の子どもたちと自分たちの学校生活を比較し、興味関心を広げることができる。また、「Let's Say It Together」、「Let's Sing 1」、「Let's Sing 2」は、曜日や教科の表現に慣れ親しみ、「話す活動」につなげられるように工夫されている。さらに、音声モデルとして「絵カードじてん」を活用することで、発音について分かりやすく学ぶことができる。

本時(第3時)の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> 「指導者用デジタル教科書(教材)」の初期画面を開いて、コンテンツを起動する。 <p>あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日常のあいさつ (例) How are you? What day is it? What's the date today? etc. <p>Let's Sing 1 音声に合わせて歌う。 (前時のふりかえり)</p>	  <p>リズムに合わせて曜日の言い方に慣れ親しむ。</p>

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<p>Small Talk (例) 好きな教科 (教師用指導書『朱書編』(p.43)「Small Talkの窓」も参照)</p> <p>(1) 教師のスモールトークを聞く。 スモールトークの中に「What subject do you like?」を入れ、児童とやりとりをする。</p> <p>(2) ペアや全体で内容の確認をする。</p> <p>(3) もう一度、教師のスモールトークを聞く。</p> <p>(4) ペアでWhat subject do you like? I like ……のやりとりをする。</p>	 <p>教師はイラストの写真を指差しながら、スモールトークを行う。</p>
展開 (30分)	<p>Today's Goal</p> <p style="text-align: center;">聞き手や話し手を意識して、学びたい教科や一緒に学びたい人を伝え合おう。</p> <p>絵カードじてん</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 絵カードを使って発音の復習をする。 <p>(1) 「Smiles ポケット」にある「絵カードじてん」を使って発音練習をする。 適切な「モード」「カードの種類」「めくり速度」「音声」「順番」を選択し実施する。</p> <p>(2) 「録音・再生」機能を使って、モデルの音声と自分の音声を比較することもできる。</p> <p>Let's Listen 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 巻末シールを使って、リスニング活動に取り組む。 <p>(1) 音声を聞かせる前に、イラストの人物について確認する。</p> <p>(2) 曜日、教科、人物に注目して音声を聞く。</p> <p>(3) 答えを確認し、シールを貼る。</p>	 <p>(1) イラストを押して音声を再生する。</p> <p>(2) ツールバーから「録音・再生」を起動する。音声を録音する。</p> 

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
展開 (30分)	Activity 1 (1) 一緒に学びたい人と教科を考え、口慣らしをする。 (2) <u>活動 1</u> クラスの友達に伝える。	
	(3) <u>ふり返し 1</u> よい話し手やよい聞き手になるポイントを確認する。 【話し手】 ● 相手を見て / 大きな声で / はっきりと等 【聞き手】 ● 相手を見て → うなずき ● リアクション → Nice! / Good! / Me, too! / Really? 等 ● わからないとき → One more time, please.	 <p>(3) <u>ふり返し 1</u> では、Lesson 1にあるActivity 1のリアクションの仕方をふり返ししながら、(4) <u>活動 2</u> につなげられるようにする。</p>
まとめ (5分)	ふり返し ● ふり返しシートの記入 ● あいさつ	

指導者用デジタル教科書(教材)を活用したことで得られた効果

第一時の活動「Let's Watch」の動画から、世界の子どもたちと自分たちの学校生活を比較したり、本時の活動「Let's Listen 2」のイラストを見て、知っている人物や教科を想像させたりするなど、「指導者用デジタル教科書(教材)」を使うことで、学習者の気付きや思考を促す授業が展開できる。ツールバーある「録音・再生」の機能は、「絵カードじてん」で音声を確認しながら使用することも可能である。英単語はもちろん、英文を録音して聞くことで、自分のイントネーションやポーズなどを確認することもできる。